

## 羅針盤



2017年9月29日(金) 第21号

＝ 9月のことば ＝

時間の使い方が下手な者ほど、真っ先に時間が足りないと不平を言い出す。

(ラ・ブリュイエール:

17世紀のフランスの思想家)

# 心に何を刻んだか

## ～ 高校生活の6分の1を終えて ～

話を聞くときは、「目で見て、耳で聞いて、頭で考えて、心に刻む」…頭を使って聞くということは、「主体的な学び」の基本だと思います。頭を使って聞いた結果、納得がいくこと。これを「理解する(した)」と言うのだと思います。

「心に刻むように人の話に耳を傾ける」とは、どのようなことを言うのだろうか? 「理解する」を簡単に言い換えれば「わかる」になる。「わ・か・る」を並べ替えると…、「か・わ・る」になります。「かわる」は「変わる」です。人の話を聞いて(「何かを学んで」と言い換えても良い)、それを心に刻めば、自分の中で何かしらの変化が起こります。ものの見方が変わる、見えている世界が変わる、考え方が変わる、進路希望が変わる、生活態度が変わる、自分の生き方が変わる、人生観が変わる…。

さあ、今日からは通常授業が始まります。授業も、「目で見て、耳で聞いて、頭で考えて、心に刻むこと」。17期生の皆さんの素晴らしい変化を期待しています。(「羅針盤」第3号より、4/14発行)

来週から1学年の後期が始まります。黎明は2期制ですから、高校生活の6分の1が終わったということになります。「羅針盤」第3号に寄せた文章の抜粋を引用しましたが、皆さんは、この半年の間に何を心に刻みましたか? 皆さんの中には、どんな変化がありましたか? 成長と呼ぶこと

ができる変化でしたか? 振り返ってみてください。成長にはつながらないと思える経験(失敗や後悔)からも、真に自分の成長につながるような手がかりをつかむこともあります。どんな意識で自分の経験を見ているかが大切だと思います。

来週からは後期が始まります。この半年、様々な経験をし、様々な人の話を聞き・考え、友人と意見を交流し、自分を見つめることもあったと思います。振り返ることはマイナスではなく、先に進むためのプラスのエネルギーにもなります。さらなる変化・成長を期待します。

10月	曜日	行事等	朝学習
29日	金	校内体育大会(2日目)、前期終業式	数学
30日	土	(週末課題:国語・英語。数学は通常通り)	
10月1日	日		
2日	月	衣替え、第2回登校指導(～4) ※課題・プログレス提出	数学
3日	火		英語
4日	水	制服着こなしセミナー	国語
5日	木		総合
6日	金	後期教育実習最終日	数学
7日	土	(週末課題:国語・英語。数学は通常通り)	
8日	日		
9日	月		
10日	火		英語
11日	水	情報モラル講演会	国語
12日	木		総合
13日	金	遠足(郷土の日本遺産/校歌を巡る)	数学
14日	土	(週末課題:国語・英語。数学は通常通り)	
15日	日		

若さ爆発

# 校内体育大会(1日目)

チーム力 No.1 は何組



## 校歌に歌われている、「日本遺産」安積疏水、猪苗代湖、磐梯山を巡る旅

昨日のLHR(学年集会)では、教育実習に来ている先輩方から進路を考える上で参考になる貴重な話を聞くことができました。その後、来月に予定している遠足についての説明を行いました。事前学習として、「日本遺産」に選定された安積疏水について、地元TVの特集番組を視聴しました。初めて知る郷土の歴史に興味津々という面持ちで、スクリーンに見入っている様子でした。来月は自分の目で本物を見て、何かを感じ取ってほしいと思います